

認定 NPO 法人外国人看護師・介護福祉士教育支援組織

令和4(2022)年度の活動について

代表理事 青野淳子

①ベトナムの新型コロナにかかる入国制限が解除されタイビンでの活動が可能となりましたので、2019年より実施を保留してきた事業「タイビン地域における日本語学習者増加プロジェクト」に着手しました。当プロジェクトではタイビン地域の小学生から社会人までに日本語を無料で学んでいただく機会を提供しますが、単なる日本語の習得が目的ではなく、日本や日本文化が好きな人々の育成を目指しています。まず、事業の活動拠点としてタイビン医療短期大学に「日本語センター」を設立しました(12月)。また、2016年より実施してきたタイビン医療短期大学看護科学生に対する日本語教育支援を当日本語センターの活動に包含させ、従来どおり継続させることにしました。テト(ベトナム旧正月)休暇明け、2月上旬よりSNSによる「日本語センター」の宣伝および「ひらがな・カタカナコース」受講者の募集を行ったところ、42名(男11名、女31名)(7才から47才)の申し込みがありました。「ひらがな・カタカナコース」開講(日曜日、計40回)に先立ち、日本文化体験イ



ントとして「浴衣を着てみませんか」を実施しました(3月12日)。参加者約40名は浴衣を試着して写真を撮るなど楽しい時間を過ごしました(写真右上)。タイビン医療短期大学看護科卒業生3名と在学生5名がボランティアで浴衣の着付けなどを手伝ってくれました。3月19日、「日本語センター」設

立式典(写真左上、写真右 式典参加者)の後、第1回「ひらがな・カタカナコース」として登録者全員を対象に日本語講師森陽子先生が対面で90分間授業しました(写真左下)。「面白くわ



かりやすかった」、「教え方がすばらしかった」など好評でした。第2回以降は2つのクラス(午前と午後、各1時間)に分けベトナム人講師イエン先生が対面で授業を担当しておりこちらも好評です。



②8名の介護福祉士国家試験合格者が誕生しました。昨年度までの4名と併せて12名の合格者となりました。残念ながら3名が不合格でした。日本語能力不足がその原因と推定して

います。しかし3名は精一杯頑張りましたので今後に期待したいと思います。熱心にご指導いただいた先生方に心よりお礼を申し上げます。③10月、タイビン医療短期大学看護科卒業生3名(1名N2、2名N3)が来日し和歌山YMCA国際福祉専門学校日本語科に入学しました。これにより当法人プログラムによる在留学生は20名(東京3名、岐阜5名、和歌山12名)となりました。④在留学生を現地に訪ねて面談し、また勤務する施設および学校の担当者に面談し状況把握につとめました。在留学生の仕事ぶりに対するクレームは1件もなく、とても満足しているという施設もありました。在留学生1名からスタッフより差別を受けているのではないかという発言があり、対処をお願いしました。日本中のすべての人が外国人を日本人と分け隔てのない同僚と認める社会とならねばなりません。当法人もそのような社会の形成に尽力してまいります。

[謝辞] 活動は法人会員費や寄付金に加え、公益財団法人森村豊明会、公益財団法人双日国際交流財団および一般財団法人MRAハウスからの助成金により実施しました。厚くお礼を申し上げます。国際交流基金(ハノイ)、森陽子先生およびイエン先生より浴衣を無料貸与いただきました。心よりお礼を申し上げます。